第7章 歴史文化資源の保存・活用に関する措置

第6章で決めた基本理念「知る」、「守る」、「活かす」という3つの基本目標を達成するために、私たちはこれから何をしていけばよいのか、いつ、誰が、何をするのか、細かく決めていきます。



第6章では、歴史文化資源の保存・活用に関する3つの基本目標を示し、それぞれの目標に基づく 方針をまとめましたが、第5章で掲げた基本理念を実現するために、より具体的な措置(事業)を明ら かにし、それらに取り組みます。

本計画の計画期間は、序章第2節で触れたとおり10年間です。前期、中期、後期それぞれの期間中に取り組む措置や実施主体を整理すると、以下のとおりです。

また、これらの措置を行うための財源は、市費や実施主体による負担のほか、文化庁の補助金(文化 財補助金、文化芸術振興費補助金など)や 関係省庁の補助金や交付金(デジタル田園都市国家構想交 付金など)、県費補助金、財団の助成金をはじめとする民間資金などを積極的に活用する予定です。

【措置の表の凡例】 計画期間 前 期 … 令和 7年度(2025年度)から令和10年度(2028年度)

中 期 … 令和 11 年度(2029 年度)から令和 13 年度(2031 年度)

後 期 … 令和 14 年度(2032 年度)から令和 16 年度(2034 年度)

網掛けのセルは、事業実施予定期間を表す。

取組主体 市民·所有者 … 伊那市民、市内各区、所有者

企業・団体 … 民間活動団体、各種団体、協議会、企業など 教育研究 … 大学、高等学校、小中学校など 各種学校

行 政 … 伊那市、長野県、国

◎ は主として取り組む主体を表す。

○ は協力して取り組む主体を表す。

市の担当部署 教 生 … 教育委員会事務局 生涯学習課

教 市 … 教育委員会事務局 市誌編さん室

教 学 … 教育委員会事務局 学校教育課

商 観 … 商工観光部

企 画 … 企画部

総 務 … 総務部

教育委員会事務局内で担当する措置については、担当課まで の表示とし、それ以外の部局で担当する措置は部局名の表示

とする。

基本目標「知る」 — 歴史文化資源を知る —

(1) 指定文化財の追加調査	、再整理の実施 に関わる事業										
					計前	画期中	間後	市	取組企	主体教	行	主
番号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続	期			民	業	育		ェ な 財
75			以外直包地域	の別	R 7 5	11 5	14 5	所有者	1	研	_,	源
		温土に調本が行われた場所/末杉字中味日目が			10	13	16	19	体	究	政	
1	埋蔵文化財再整理事業	過去に調査が行われた遺跡(市指定史跡月見松 遺跡など)の出土遺物や記録類の再整理や、未報 告の遺跡の出土遺物などの再整理を行い、遺跡の		継続							◎ 教	国費 県費
		再評価及び活用事業につなげる。									生	市費
2	指定文化財再調査	指定年が古く調査が十分でない文化財について、 文化財価値を高めるため、再調査を行う。		新規						0	◎ 教生	市費

基本目標「知る」 – 歴史文化資源を知る –

(2)継続的な調査研究の実施	徳 に関わる事業										
番号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続 の別	前期 R 7~	期	後期 R 14	市民・所有	企業・団	教育 研究	_	主な財源
3	仏教文化財調査	市内に伝わる仏像などの仏教文化財のうち、さらなる価値評価が必要と考えられるものについて、仏教美術の専門家の協力を得ながら、詳細調査を実施する。		継続						O	◎ 教市	市費
4	民俗調査	市内各地区における民俗事例や方言、民俗資料の利用状況について、聞き取り調査を実施する。		継続				0		O	◎ 教市	市費
5	動植物の生息・生育調査	動植物の生息状況や生息環境の変化を確認するため、昆虫(トンボ)、爬虫類、魚類、鳥類などの生息調査を行うとともに、希少植物や古木・巨木などの現況調査を実施する。		継続						\circ	◎教市	市費
6	地質・鉱物・化石調査	戸台の化石保存会や南アルプスジオパーク関係団 体等が中心となり、地質・鉱物・化石調査を継続 的に実施する。		継続				0	9	0	〇 教生	市費団体等
7	建築調査	歴史的建造物の建築調査を行う。	伊那 (伊那(竜西)、 伊那(竜東))	新規				0	5	ol	◎ 教生	市費
8	古文書調査	市内各地に伝存する未調査資料の把握、既出資料の所在確認調査等を行う。		新規				0		ol	◎ 教生	市費
9	高遠石工調査	市内外を問わず、高遠石工に関わる資料や石造 物の把握を進める。	高遠町(高遠)	継続				0	Э		◎ 教生	市費 団体費
10	史跡高遠城跡遺構確認 調査	史跡高遠城跡の整備事業の一環として、遺構確 認調査を実施する。	高遠町(高遠)	新規						O	◎ 教生	国費 県費 市費
11	戦争関連遺跡、資料の把握	太平洋戦争に関わる遺跡、遺構の保護に向けて、 現況確認や関係者への聞き取りを通して、個人宅 に存在する各種資料の把握を進める。		新規							◎ 教生	市費

基本目標 「知る」 — 歴史文化資源を知る —

)市民の手による歴史文化	に関わる事業										
				計	画期	間]	取組	主体		
				前	中	後	市	企	教	行	È
市 ₩15口	市 ₩-h-応	重点的に		期	期	期	民	業	杏		な
事業 垻日 	事業内谷 	取り組む地域		R	R	R	. 所		-		財
			נימכט	7	11	14	有	寸	研		源
				10	13	16	者	体	究	政	
市民大学大学院生による調査活動	まほらいな市民大学大学院の学生が主体となり、調査研究活動(主に自然分野・歴史分野)を行っ		継続				0		0	〇教生	市費
	事業項目 市民大学大学院生による	事業項目 事業内容 事業内容 まほらいな市民大学大学院の学生が主体となり、調査研究活動(主に自然分野・歴史分野)を行	事業項目 事業内容 重点的に 取り組む地域 市民大学大学院生による 調査活動 まほらいな市民大学大学院の学生が主体となり、 調査研究活動(主に自然分野・歴史分野)を行	事業項目 事業内容 重点的に取り組む地域 新規継続の別 市民大学大学院生による 調査研究活動(主に自然分野・歴史分野)を行 継続	事業項目 事業内容 重点的に 取り組む地域 新規 総続 の別 R 7 5 10 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	事業項目 事業内容 重点的に 取り組む地域 期 中 期 別	事業項目 事業内容 重点的に 取り組む地域 新規 継続 別 期 期 期 期 日 日本 日	事業項目 事業内容 「重点的に取り組む地域 新規 継続 の別 期 期 期 別 期 期 別 期 別 期 別 期 別 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	事業項目 事業内容 「重点的に取り組む地域 を	事業項目 事業内容 重点的に 取り組む地域 新規 期 期 民 業 育 研 別別組む地域 別別 日本	事業項目 事業内容 「重点的に取り組む地域

基本目標「知る」 - 歴史文化資源を知る -

(4)情報発信の強化 に関れ	る事業										
番 号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続 の別	前期 R7~	期 R 11 {	後 期 R	市民・所有者	取組企業 ・団体	教育研	行	主な財源
13	歴史文化情報の発信	市ホームページへの掲載や博物館サポーターの SNS投稿などにより伊那市の歴史文化の魅力や各 区の取組、歴史文化イベントなどの情報の発信を 行う。		継続				0	0	0	◎ 教生	市費
14	伊那市誌編さん事業	地域の変遷を顧み、郷土に対する関心と愛情を深め、市の発展に資するため、各種調査を実施しながら、市の自然、歴史、文化などをまとめた市誌の編さん、刊行を進める。		継続				0	0	0	◎ 教市	市費
15	史跡・遺跡などの 映像記録作成と公開	主要な史跡・遺跡などの立地や景観をドローンで広範囲に撮影、記録し、データをWeb公開する現地看板などへのQRコード設置など)。		新規							◎教生	市費
16	無形の民俗文化財の公開 中継	モバイル公民館による伝統芸能などのパブリック ビューイングを実施し、遠隔地でも観覧ができるよう にする。	長谷(中尾)	継続					0		〇 教生	市費
17	文化財地図の整備、公開	歴史文化資源をまとめた文化財地図を整備し、公開につなげる。 文化財地図のダイジェスト版として、エリア別、分野別のパンフレットなどを作成配布する。		新規							◎ 教生	市費

基本目標「知る」 - 歴史文化資源を知る -

(5)文化財データベースの充実	実と公開 に関わる事業										
					計	画期	間]		主体		
				新規	前		後	市口		教	行	主
番	事業項目	事業内容	重点的に	継続		期		民	業	育		な
号		3 281 311	取り組む地域	の別	R 7	R 11	R 1⊿	所	_	研		財源
					5	S	5	有者	団体		政	<i>III</i>
		明ちの女化け分帳に見近の調本代用や佐田は			10	13	16		144	九	ILX.	
	文化財データベース(文化財	既存の文化財台帳に最新の調査成果や修理情報などを追加し、充実を図るとともに、その他の歴史									0	
18	台帳)による情報管理と	文化資源の基礎情報のデータベース化を進め、		新規							教	市費
	Web公開	Web公開をする。									生	

基本目標 「知る」 – 歴史文化資源を知る –

(6)知る場所、知る機会の提	校教育との連	携-	ار	関れ)る!	事業	Ě				
番号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続 の別	前期 R7~	画 期 中 期 R 11 13	後期 R 14	市民・所有者	·	教育研	行	主な財源
19	特別展・企画展の開催	各博物館施設において、歴史文化資源に関わる 展覧会を開催する。		継続	10	10				0	◎ 教生	市費
20	博物館施設の展示、 体験プログラムの充実と周知	最新の調査成果を踏まえ展示の充実を図るほか、 各年代層に向けた体験プログラムを整理し、博物館毎の情報が一目で分かるようなパンフレットを作成する。		新規							◎ 教生	市費
21	博物館サポーターの育成 資料館ボランティア、関係 団体との連携	講座などを通して、博物館サポーターを育成するとともに、「高遠をこよなく愛する会」などのボランティア団体や「戸台の化石保存会」といった関係団体と協働でイベントや展示を実施する。		継続				0	0		◎ 教生	市費
22	博物館施設の収蔵型展示の充実と公開	可能な範囲で博物館施設において収蔵型展示を 行い、収蔵庫見学の受け入れを行い、未公開の歴 史文化資源に触れる機会を増やす。		継続							◎ 教生	市費
23	郷土学習読本 『わたしたちのふるさと』 の活用	郷土学習読本を市内小学生に配布し、学習に用いる。		継続						0	◎ 教 学	市費
24	学校資料室の再整備	学校保管の歴史資料(考古資料、文献史料、民俗資料など)の整理と活用を図る。		新規						0	◎ 教生	市費
25	中学生、高校生の職場体験 受け入れ	歴史文化資源や関係する活動を知り、理解を深めてもらう機会として、博物館施設での職場体験受け入れを積極的に行う。		継続						0	◎ 教生	市費

基本目標「守る」 - 歴史文化資源を守り未来へつなぐ体制づくり -

(1)文化財の指定・保護等の	推進 に関わる事業										
					計	画期	間]	取組	主体	;	
番号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続 の別	前期 R7~	期 R 11 5	S	市民·所有者	業 · 団	育研	行政	主な財源
26	調査成果を踏まえた文化財指定	各種調査の成果を元に、文化財指定・登録を進める。		継続	10	13	16		74	九	◎教生	市費
27	史跡高遠城跡整備事業	保存活用計画の策定、藩校進徳館修理、公有地 化の推進などを実施する。	高遠町(高遠)	継続							◎教生	国費 県費 市費
28	遺跡地図(埋蔵文化財包蔵 地地図)の見直し	試掘調査などにより埋蔵文化財包蔵地の範囲確認を行い、既存地図を更新、公開することで、遺跡の保護に万全を期す。		継続						0	◎教生	国費市費
29	埋蔵文化財の保護 (開発事業との調整及び 記録保存)	遺跡内における開発事業と埋蔵文化財の保護を 両立するため、事業者と十分な調整を行い、適切 な遺跡の保存を図る。		継続				0	0		◎ 教生	国費 市費

基本目標「守る」 - 歴史文化資源を守り未来へつなぐ体制づくり -

(2)文化財所有者、保存団体	本等への支援 に関わる事業										
番号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続 の別	前期 R7~	画期 中期 R 11 13	後期 R 14 S	市民・所有者	取組企業 ・ 団体	主体教育研究		主な財源
30	文化財補助事業	計画的に実施される指定文化財の保存、修理などに対して、補助金を支給する。		継続							◎ 教生	国費 県費 市費
31	自治会・住民自治組織など による活動への支援	区や住民自治組織などによる地域史誌編さん事業 や、歴史文化資源に関わる活動に対して、支援を 行う。		継続					0		◎企画	市費
32	保全団体などの表彰	歴史文化資源の保存・活用に長年関わってきた個人や組織を伊那市表彰規則に照らし合わせて表彰する。		継続							◎総務	市費

基本目標「守る」 - 歴史文化資源を守り未来へつなぐ体制づくり -

(3)各種団体、組織との連携	体制づくり に関わる事業										
					計	画期		_	取組			
番			=	新規	前期		後期	市民	企業	教	行	主
号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	継続	R	R	_≯ ⊓ R	所	*	育		な 財
. ,				の別	7	11	14	有	寸	研		源
					10	13) 16	者	体	究	政	
33	歴史文化資源関係団体	歴史文化資源の保存・活用に関わる団体組織同		新規				0	0	O	O 教	市費
33	懇談会の実施	士をつなぐ懇談会を開催する。		利乃近				O	9	O	生	III
34	研究機関などへのフィールド	大学研究室などの調査研究フィールドになるよう、 市内の歴史文化資源の情報提供を行うなど、積		継続							◎ 教	市費
	提供	極的な支援を行う。		ጥഥባሃዕ							生	

基本目標「守る」 - 歴史文化資源を守り未来へつなぐ体制づくり -

(4)無形文化財や無形の民化	谷文化財のアーカイブ化とデジタルアーカイブ	事業の推進	に関れ	つる!	事業	ŧ					
番号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続 の別	前 期 R	期 R 11 ~	間 後期 R 14 16	市民・所有	企業・団	主体教育研究	行	主な財源
35	無形の文化財の映像化	無形の文化財の動画撮影を行い、デジタルアーカイ ブ化を図る。		新規					0	0	◎ 教生	国費市費
36	無形の文化財アーカイブ 公開活用の検討	無形の文化財のデジタルアーカイブの公開活用方法を検討する。		新規					0	0	◎教生	国費市費

基本目標「守る」 - 歴史文化資源を守り未来へつなぐ体制づくり -

(5)防災、防犯体制の整備・	強化 に関わる事業										
番号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続 の別	計 前期R7	R	-	市民・所有		主体教育 研		主な財源
37	文化財等パトロールの実施	現在実施している国・県指定文化財パトロールを、 市指定文化財まで対象を広げ、定期確認を行う。		新規	10	13	16	者〇	体	究	政 ◎ 教生	県費 市費
38	防火防災訓練の実施	文化財防火デーに合わせて、建造物を対象とした 防火訓練を実施するほか、博物館施設などでも防 災訓練を実施する。		継続				0			◎ 教生	市費
39	地名調査成果の活用	地名調査によって把握された災害地名などを防災 計画や防災施策に反映する。		継続							○総務	市費

基本目標「守る」 - 歴史文化資源を守り未来へつなぐ体制づくり -

(6)歴史文化資源の散逸防	止・啓発活動 に関わる事業									
番号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続 の別	前期 R7~	期 R	後期 R 14 ~	市民・所有者	 主体教育 研究	_	主な財源
40	文化財相談窓口	歴史資料の散逸を防ぐため、市報や市ホームページなどで呼びかけを行うとともに、市教委、各博物館などに歴史文化資源に関わる問い合わせ窓口を置く。		新規		10	10	0		◎教生	市費
41	歴史資料の所在調査	市史、町誌、村誌、県史編さん事業等古い年代に 実施された調査によって把握された考古資料や古 文書等の歴史資料について、現在の所在を確認す るための所在調査を行う。		新規				0		◎教生	市費
42	文献史料、民俗文化財など の郷土資料の収集・公開	伊那市に関わる古文書や絵図などの文献史料や 民俗資料などを収集し、整理目録作成を行った上 で、公開する。		継続				0		◎ 教生	市費

基本目標「守る」 - 歴史文化資源を守り未来へつなぐ体制づくり -

(7)人材育成や技術の継承	に関わる事業										
					計	画期	間	I	取組	主体	:	
番	事業項目	事業内容	重点的に	新規 継続	前期	期	期		企業	教育	行	主ない
号	3 513 512	3 314, 3 2	取り組む地域	の別	R 7 5 10	5	5		· 団 体	研究	政	財源
43	体験型講座と連携した 無形の民俗文化財の公開	担い手増につなげるため、市民や観光客が興味を もって参加できるようなワークショップや体験講座等 を行いながら、文化財の公開を進める。	長谷(中尾)	継続	10	13	10		0	76	〇 教生	団体等
44	無形の民俗文化財への活動 場所の提供	無形文化財や無形の民俗文化財保存団体が、活動において市の施設を利用する場合、使用料減免措置を講ずるなどの支援をする。		継続							◎ 教生	市費
45	学校と地域が連携した 文化財の伝承	学校の授業やクラブ活動に取り入れながら、高遠ば やしや中尾歌舞伎といった無形文化財や無形の民 俗文化財を伝承していく。		継続					0	0		市費団体等
46	古文書教室の開催	古文書講座を実施し、新たな解読者を育てていく。	高遠町(高遠)	継続				0	0		◎ 教生	市費
47	小・中・高等学校における 地域学習の実施と協力支援	歴史文化資源を活用した地域学習に対して、講師派遣や施設利用などの協力支援を行い、次世代の歴史文化資源への愛着心を育てる。		継続				0	0	0	〇 教 生	市費

基本目標 「活かす」 - 歴史文化資源を広め活用する -

(1	(1)歴史文化資源同士のつながり(関連文化財群)を踏まえた保存・活用 に関わる事業											
					計	画期	間	取組主体				
番号	事業項目	事業内容	重点的に取り組む地域	新規 継続 の別	前期 R7~	中期 R 11 <	後期 R 14 (市民・所有・	企業・団	教育研	行	主な財源
					<u>1</u> 0	<u>1</u> 3	<u>1</u> 6	者	体	究	政	
48	歴史シンポジウムの開催	伊那市の歴史文化を捉えるシンポジウムを開催し、 保存活用につなげる。		継続							◎ 教生	市費
49	関連文化財群の周遊ルート の設定と公開	関連文化財群を踏まえて、主な歴史文化資源をつなぐ周遊ルートを設定し、モデルコースなどを公開する。		新規				0	0	0	◎ 教生	市費

基本目標 「活かす」 - 歴史文化資源を広め活用する -

(2	(2)周遊ルートの設定と活用、案内施設や説明板の整備充実・維持管理、多言語化への対応 に関わる事業											
					計i	画期	間	F	取組	主体		
番号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続 の別	前期 R 7 ~ 10	期 R 11 ~		民·所有	企業・団体	教育研究	行政	主 な 財源
50	案内板、説明板整備事業	既存の案内板・説明板の維持管理、更新のほか、 必要な場所へ新規設置を行う。その場合、多言語 化も視野に入れて内容検討を行う。	伊那 (伊那(竜西)、 伊那(竜東)、富 県、東春近、 西春近)	継続				0	0		◎教生	県費 市費

基本目標 「活かす」 - 歴史文化資源を広め活用する -

(3	(3)各種講座、講演会、歴史文化資源を活用したイベントの実施 に関わる事業												
					F	画期				主体	行		
番号	事業項目	事業内容	重点的に取り組む地域	新規 継続 の別	前期 R 7 5 10	中期 R 11 13	S	· 所 有	業 · 団	育研	17	主な財源	
51	学芸員など専門職員による 出前講座の実施	学芸員や専門職員が地域や学校へ出向き、各種 講座を実施する。		継続	10	13	10			0	◎ 教生	市費	
52	地区公民館地域探訪 ウォーキング	歴史文化資源を探訪しながら地域内をめぐるウォー キングを実施する。		継続				0	0			団体等	
53	グッズ製作と販売	ミュージアムグッズや歴史文化資源を使った魅力的なグッズを製作し、販売する。		継続					0		O 教 生	市費 企業 団体等	

基本目標 「活かす」 — 歴史文化資源を広め活用する —

(4)案内ガイドの養成と活動支援 に関わる事業												
番号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続 の別	前期 R7~	期 R	後期 R 14	市民・所有な	企業・団	主体教育研究		主な財源
54	各種案内ガイド養成講座の 実施	歴史文化資源の案内ガイド(史跡案内ガイド、観 光ガイド、石仏ガイド、ジオガイド等)を養成する講 座を実施する。		継続					0		〇 商 観	団体等
55	各種案内ガイドの育成支援	資料提供などを行い最新調査成果を共有するとと もに、養成講座への会場提供など、育成支援を行 う。		継続					0		◎ 教生	市費

基本目標 「活かす」 - 歴史文化資源を広め活用する -

(5) デジタルコンテンツの開発・利用による公開活用 に関わる事業													
					計	画期	間	I	取組				
番号	事業項目	事業内容	重点的に 取り組む地域	新規 継続 の別	前 期 R	I	後期 R 14	市民・所	業 ·	育	行	主 な 財	
				-5,55	7 { 10	5	14 { 16	有	뗍	研 究	政	源	
56	古文書保存活用事業	古文書などの文献史料のデジタル化(撮影・書誌情報のデータベース化)を行い、AI解読ワークショップや古文書を題材に使ったイベントを行うなど活用を図る。	高遠町(高遠)	継続				0	0	0	◎ 教生	市費企業	
57	写真資料デジタル化事業	写真資料のデジタルアーカイブ化を進める。		継続				0			◎教生	市費	
58	デジタル機器の活用による 記録作成	有形の歴史文化資源について、3Dスキャナーによる3Dデータ化や赤外線カメラを用いた撮影など、デジタル機器を利用し、アーカイブ化を進める。		新規					0		◎ 教生	市費	
59	文化財デジタルアーカイブの 構築と公開	デジタルアーカイブ閲覧システムを構築し、指定・未 指定文化財や博物館収蔵資料などの公開を進め る。		新規					0		◎ 教 生	市費企業	
60	デジタルコンテンツを用いた 歴史文化資源の活用	デジタルコンテンツを用いた歴史文化資源の活用を 進める。	高遠町(高遠)	継続				0	0		◎ 教 生	市費	